

# 杉並景観録

## SUGINAMI Keikankan-Roku

### 第十六号



●発行日 平成23年3月28日  
●発行 杉並区都市整備部まちづくり推進課  
TEL.3312-2111(代)



## 夜を彩る

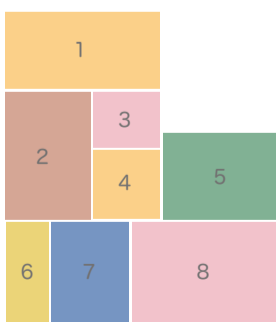
私たちの周りには、夜間様々な照明の光があふれています。暗い中に光る灯りは幻想的な空間を演出します。

昔、私たちの祖先が火を発見し、闇の中に明かりを灯しました。真っ暗で何も見えない中で周囲が明るくなり、一緒にいる仲間の顔が見え、今のキャンプファイヤーのように、それは人々に安心と安らぎを与えたことでしょう。現在、夜間でも照明により昼間のような明るさを得ています。

商店街はネオンサインや看板の照明、お店の明かりなどで夜遅くまで明るく、賑わいを演出しています。オフィス街はビルの窓の明かりがモザイク状に見え、それぞれが大規模を創っています。住宅街はそこに住んでいる人たちの生活の灯りや、街路灯のように家路を導く、連続したやさしい明かりがあります。そして、クリスマスや年末などライトアップやイルミネーションのように光を楽しむ灯りもあります。

夜間は照明に照らし出された建物の色や形、照明の色そのものを見ることが出来ます。昼間の景観があるように、夜間の景観もあります。照明は明かりを得るだけではなく、そこに風景をつくりだすようになりました。夜間も照明の方法ひとつで、より美しいまちなみになります。商店街、住宅街など、それぞれのまちなみや状況に合わせた照明があり、住宅街は落ち着いた感じのある照明、商店街はまちの個性を演出する照明によりまちの魅力を高めています。

皆さんがともした灯りが夜のまちなみを彩っています。



- 1 東京女子大学
- 2 立教女学院
- 3 久我山橋
- 4 大田黒公園
- 5 座・高円寺
- 6 杉並公会堂
- 7 善福寺川(丸山橋付近)
- 8 URプロムナード狹窪(桃井3-7)

# すぎなみ／ひと／まちなみ SPECIAL EDITION

## 景観シンポジウムを開催しました!! 「創りゆく景観 消えゆく景観」

第10回杉並「まち」デザイン賞の表彰式を行い、その後、藤森照信さんによるお話と、「景観まちづくり」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

### 工学院大学工学部建築学科建築学コース教授 藤森照信さん

人間の心の中で街や建物が、どのような動きをしているかということを知り、建物を保存していくことや良い建物を創っていくことは、どうして大切なのかをお話いただきました。

#### 吉武泰水の「夢の研究」

吉武氏は、自分の夢を記録し研究しました。そして、引越して新しい環境になったとき、自分の生まれ育った古い家の夢を見ることから、引越したことから、分断されてしまった自分の時間を夢によって修復しているということを発表します。

#### カフカ著の小説「変身」

朝起きたら自分が虫になってしまった話です。自分分は変わっていないけど姿が変わってしまった。それは、はたして自分なのか確信が持てず不安になってしまいます。

#### 懐かしさと喪失感

人間は、自分が通っていた学校を見て懐かしくなります。それは、自分がそこにいたことを確認し、時間的に自己同一できたことへの喜びです。反対に古い建物や自立つ木がなくなるといふ嫌な感じは、記憶の連続性を確認できなかったという不快感からおこる喪失感です。

#### 記憶の連続性

記憶の連続性は、人間の根本的なところで大切なものです。その記憶は、目で見たものによって確認されます。これは、自然、都市、街並み、建築の順で認識され、日本には象徴的な自然の山「富士山」があるため、古い建物を重視してこなかったようです。ヨーロッパでは、戦争などで壊れてしまった建物をそのまま再現するほど大切にしています。ひとは、記憶の連続性の確認のために古いものを求めざるを得ません。その質は関係ありませんが、良いものは残していきたいので創らなくてはなりません。

建物の保存は時間的的自己同一性の確認  
ー記憶の連続性ーという点で、大切なこと  
となります。

## 第10回杉並「まち」デザイン賞が決定しました

### 第10回杉並「まち」デザイン賞 ードキッ！発見まちの「顔」ー

杉並区では、自然と歴史的環境に調和し、魅力的な景観づくりに貢献している建物・地域活動などを、「杉並『まち』デザイン賞」として表彰しています。今回は、平成21年10月より広報やポスター等を通じて募集し、多数の応募・推薦の中から7月28日に開催された選考委員会の審査の上5件が選定され、杉並区まちづくり景観審議会です承され決定しました。

第10回までの表彰対象を一冊にまとめたパンフレットをまちづくり推進課で配布しています。



① メール・ド・ラベユ (天沼三丁目)  
② 西郊ロッジング (荻窪三丁目)  
③ 柏の堂公園の田んぼ (区立柏の堂公園内)  
④ 浜田の家 (浜田山三丁目)  
⑤ 洋館&ヒマラヤ杉 (松庵三丁目)

## 杉並風景写真コンテスト ー私の好きな杉並の「風景」ー

「杉並『まち』デザイン賞」第10回を記念し写真コンテストを開催しました。杉並区内にある素敵な風景や家・お店・みどりなどの風景写真を募集したところ、たくさんのご応募をいただきました。こちらは入賞された5名の皆さんの作品です。



「樹々の中の大滝」 与田玲子さん



「川は」君コレクション」 北川聡子さん



「冬近し」 佐藤 敬さん



「4本イチヨウ、これから」 大場将園さん



「高円寺落葉の絨毯」 吉田勝美さん



## 参加者の皆様からの質問

Q. 電柱についてどう考えていますか？

A. (千葉氏、倉田氏) 通りの優先順位があり、何を優先して税金を使うかということでしょうか。家庭用バッテリーがもっと良くなれば、電柱は要らなくなるかもしれません。電柱だけが連なっているのもよいので、トランスだけ残すということも考えられます。

Q. 一年目がピークの建物など古くなって汚くなってさびしくなる景観が存在します。5年10年たつてよくなっていく建物造りやまちづくりはできないのでしょうか？

A. (河野氏) 木造の建物を大事にして使って行くなど建築に対する見方も変わってきているので、これからの建築家の活躍を見守って欲しいと思います。

Q. 「これはいい」とは、どういうものですか？

A. (藤森氏、倉田氏) いいものの基準は変わっていきませんが、空や土など自然のものは変わりません。また、人の歩く行為は変わらないので、人の歩く速度で感じる景観を考えると良いものが見えてきます。(参考：黒川紀章氏、デンマークのヤン・ゲール氏)

## シンポジウムを開催して

コーディネーター  
倉田直道さん

(工学院大学工学部都市デザイン学科教授)

景観は絶対的な価値をつけるのが難しいものです。みんなが共有して感じないといけないものです。そのために、知恵が必要なので、みんなで杉並ならではの取り組みを考えて行かないといけないのではないのでしょうか。

区では景観計画ができ、制度もできています。それを活用しながら、それぞれの地域で景観を通しての杉並ならではのまちづくりを進めていけることを望みます。



倉田直道さん

### ～まちづくり推進課景観係より～

景観が人間のアイデンティティの確立の一つであり、また、杉並区の杉並区である価値の認識をするためにも大切なことであることを改めて感じました。沢山の方々のご出席、また、アンケートにお答えいただきましてありがとうございました。その結果、杉並区景観計画が区民に十分知られていないこともわかり、今後なお一層の周知に努めます。そして、気持ちを新たに区民の皆様と一緒に杉並区の景観の向上を考えてまいります。

## パネリスト 千葉皓史さん

(第9回杉並「まち」デザイン賞受賞者)

デザイン賞を受けた建物と植栽は、まちなみづくりに少しでも貢献することを願って創ったものです。植栽にはすべて雑木の株立ちを用いました。昔の上井草は新の生産地でした。その畑ともいう



南荻窪・昭和の家



スカラベとツバメのステンドグラス

## パネリスト 大倉素子さん

(第10回杉並「まち」デザイン賞選考委員長)

「まち」デザイン賞の選考を通して感じたことが二つありました。一つは、推薦事例の多くに見られるように「緑」が景観形成の重要な要素として認識されているこ



写真上・デザイン賞を受けた建物と植栽  
写真左下・街路上の色彩の整理

## パネリスト 河野進さん

(第10回杉並「まち」デザイン賞選考委員長)

屋敷林のような象徴的な物は、人のものだけ自分のものであるようになって、みんなの共有物のようなものです。この共有感を広げていくと、そのまちらしいまちづくりに繋がっていくのではないのでしょうか。



パネルディスカッション

べき雑木林は、切り株からの萌芽更新により維持管理されていたので、林中には「株立ち」が多かったと思われまます。受賞をきっかけに、地域の皆さんにこの雑木の「株立ち」普及への協力をお願いする木製看板を出し、「まちづくり上井草」の活動も本格化させました。賛同者は年々増え、近隣を中心に「上井草」の「株立ち」のみどり広がりつつあります。この「上井草雑木みちプロジェクト」に加えて、フリーマガジン編集、マップ制作、街路上の色彩の整理などを通じて、「上井草らしい」景観とルールづくりに取り組んでいます。

と、もう一つは、推薦事例の約半数が住宅であることです。杉並区における緑の主体が住宅地に存在することを考え合わせると、住宅とともに手間隙のかかる樹木や草木の手入れをはじめとする日々の暮らしを丁寧に行ってきた区民とまちの歴史が景観に味わいを持たせているということであり、杉並区が「住宅都市」である所以であると思えました。「洋館とヒマラヤ杉」は、上品なピンクの外壁色が特徴であり、ヒマラヤ杉を引き立てている良い事例でした。今後は、屋外広告物や、道路などの公共的な空間の質も、住宅のように誇れるものになって欲しいと思っています。

1989年に始まった杉並「まち」デザイン賞は、今回で10回目を迎えました。今年から杉並区景観計画の運用も始まり、これを機に「創りゆく景観・消えゆく景観」をテーマとした、これからの杉並のまちの景観を考えるシンポジウムを平成22年11月13日に開催いたしました。会場は、阿佐谷の細田工務店様のご好意により、杉並区の誇るべきやまの並木道が見える杉並リボン館をお借りいたしました。



細田工務店入口

n

e

杉並景観録

w

s

# 「景観週間」を開催

平成22年10月28日～11月14日

## 「今」だから考えたい杉並の景観

News

### 杉並の残したい風景 in 阿佐谷 ～ストリートアート展～

10月28日～11月7日

「NPO 法人東京を描く市民の会」の会員の方々が杉並の風景を描きました。その絵画など約60点を阿佐谷商店街振興組合（阿佐谷パールセンター商店街）のご協力により店先に展示させていただきました。ありがとうございました。

協力：阿佐谷商店街振興組合  
（パールセンター商店街）



阿佐谷パールセンター商店街での絵画展示

News

### 大田黒公園周辺地区 景観まちづくりイベント

11月3日

・河村初音ピアノリサイタル  
スカルラッティ「ソナタ」、バッハ「六つの小プレリュード」などすばらしい演奏を聴くことができました。



河村初音さんのピアノ演奏



「みんなの青空写真展」

・大田黒公園周辺まち歩き  
「荻窪南すぎなみ景観ある区マップ」を参考に大田黒公園周辺の西郊ロッジ、角川庭園・幻戯山房～すぎなみ詩歌館～などの周りを約1時間30分歩きました。

・景観パネル展示  
第10回杉並「まち」デザイン賞受賞作品等を展示しました。

・みんなの青空写真展  
「草の根っこ写真の会」の方々により作品を芝生の上に並べたり、木にかけたり自由に作品が展示されました。

News

### 第10回まちデザイン賞 表彰式・景観シンポジウム開催

11月13日

会場：細田工務店杉並リボン館



杉並「まち」デザイン賞表彰式

杉並「まち」デザイン賞の表彰式では、受賞者5人と杉並風景写真コンテスト受賞者5人の計10人の方が表彰されました。区長から受賞した方々に表彰状と記念品が手渡され、その後各自受賞の思いを語っていたが、閉会しました。



杉並「まち」デザイン賞クリスタルガラスの額と、写真コンテスト受賞作品入り写真立て

引き続き、景観シンポジウム「創りゆく景観 消えゆく景観」をテーマに藤森照信氏の講演とパネルディスカッションが行われました。

杉並「まち」デザイン賞を紹介した冊子・リーフレットは、まちづくり推進課で配布しています。

平成22年10月28日から11月14日まで景観週間を開催しました。区役所庁舎1階ロビーで景観まちづくりに関するパネルの展示と、区民の方々が杉並百景を振り返ったビデオ（大石氏撮）と絵はがき（増田氏画）の展示を行いました。また、詩歌館まつり、大田黒公園周辺地区景観まちづくりイベント、杉並の残したい風景 in 阿佐谷（ストリートアート展）、工学院大学生による荻窪のまちづくりの提案発表会なども行われました。

たくさんの方々のご参加ありがとうございました。



庁舎ロビーでの風景

News

### 角川庭園詩歌館まつり

10月31日

角川庭園・幻戯山房～すぎなみ詩歌館～ですぎなみ詩歌館まつりが開催



角川庭園ツアー

されました。午前は庭園ツアーとして、建築家の松本裕介氏が館内の案内を、岩野光伸氏が庭園の案内をしました。また、松田輝雄氏がみどりコースを、俳人の俵木陶光氏が俳句コースのまち歩きの案内をしました。午後は俳人協会幹事の小島健氏の講演と小島健氏と松田輝雄氏による対談「角川照子の微美と結社“河”」がありました。

また、郷土博物館と連携して角川照子展を行いました。

News

### 荻窪の魅力をデザインする

11月8日～14日



「荻窪まちづくりの提案」発表会

11月8日から11月14日まであんさんぶる荻窪で工学院大学の学生が製作した模型とパネルが展示されました。そして11月11日夜6時30分から、あんさんぶる荻窪で「荻窪のまちづくりの提案」の発表会が行われました。提案は5案あり熱の入った発表でした。

Topics

### 宮崎駿監督著「トトロの住む家」写真展と「Aさんの庭」デザイン展



「トトロの住む家」に掲載された写真の展示

平成22年6月25日から7月1日まで杉並区役所区民ギャラリーで、宮崎駿監督著「トトロの住む家」に掲載された写真と、監督による「Aさんの庭」公園のデザインスケッチを展示しました。たくさんの方にご来場いただきありがとうございました。

### 区立公園「Aさんの庭」が開園しました

平成22年7月25日に「Aさんの庭」（阿佐谷北5丁目）が開園しました。開園式には、多くの皆様とともに、宮崎駿監督にもお会いいただきました。



Aさんの庭



開園式

平成22年4月1日に杉並区景観計画を告示し、6月1日から景観法による届出を受け付けています。

【問い合わせ】

杉並区都市整備部まちづくり推進課景観係 tel 03-3312-2111